

米の予想収穫量と今後の需給見通しについて記者懇談会で広く発信

価格高騰が続く米について、予想収穫量や今後の需給見通しに関する情報発信を行い、併せて報道機関における農業情勢への理解を深めてもらうため記者懇談会を開催。

○ 施策分類

広報

○ きっかけ・背景、課題の把握

価格高騰が続く米への関心が高まるなか、記者懇談会を開催し、報道機関を通じて広く情報を発信。報道機関における農業情勢への理解促進、良好な関係の構築を図った。

○ 取組の内容

記者懇談会では、静岡県拠点から「令和7年産水稻の作付面積及び10月25日現在の予想収穫量」及び「米の需給見通し」について説明。さらに、拠点発刊の広報誌や県内の新規就農者の取組事例についても情報提供し、農政に関する意見交換を行った。

記者懇談会には令和7年度関東農政局支局業務研修の一環として本局の若手職員も参加し、地方参事官室の広報業務を体験した。

○ 効果・成果、今後の方向性

記者懇談会には、テレビ局2社と新聞社3社が参加した。当日のテレビニュースでの報道や新聞記事への掲載により、迅速で広範囲に情報発信された。

今後も農業に関心を持つ地元マスコミと機会あるごとに接点を持ち、情報提供や意見交換を行い農政情報を広く発信していく。



▲ 記者と懇談を行う地方参事官及び担当者

○ 令和8/9年の主食用米等の需給見通し

		今回	
		(万玄米 [※])	(万樽米 [※])
令和8年6月末民間在庫量	H	215~229	191~205
令和8年産主食用米等生産量	I	711	630~637
令和8/9年主食用米等供給累計	J(H+I)	926~939	821~841
令和8/9年主食用米等需要量	K	694~711	622~630
令和9年6月末民間在庫量	L(J-K)	215~245	191~220

※1 事前契約による令和8年産備蓄米の政府買入れは21万玄米[※]を予定。これは上記「令和8年産主食用米等生産量」には含まれていない。
 ※2 政府備蓄米の放出(全体で約59万玄米[※])に係る買戻し及び買入れは、今後の需給状況等を見定めた上で行う。

▲ 令和8/9年の主食用米等の需給見通し等を説明

体制図

